

宇治市中学校給食検討委員会会議録（第4回 概要）

第4回				
出席者	委員	野田 遊（同志社大学 教授） 藤井 宣夫（北小倉小学校 校長） 田中 康（東宇治中学校 校長） 大西 利奈（西大久保小学校 栄養教諭） 西本 真里（槇島小学校 栄養教諭）	日 時	2018年11月26日(月) 9:30～14:30
	事務局	宇治市教育委員会 伊賀部長、山本副部長、市橋センター長、吉田 学校教育課長 兼久保健給食係長、宮山主任、 中井栄養士	場 所	伊丹市立 中学校給食センター、 北中学校
欠席者	委員	坂本 裕子（京都華頂大学 教授） 長谷川 良（木幡中学校 教務主任） 丹羽 寛美（大久保小学校 育友会 会長） 中村 彩子（南宇治中学校 育友会 会長）		
議題	-			
協議資料	-			
1. 開会				
事務局：本日の資料の確認及びスケジュールの説明				
伊丹市中学校給食センターまで移動				
伊丹市 所長：それでは早速、センターの内部からの視察をしていただきたいと思います。				
2. 伊丹市立中学校給食センター視察				
伊丹市 大きな釜が全部で8つあります。1つの釜で大体1,300人分つくることができま				
栄養教諭：す。				
委員：それは1釜1回の調理だけで、ですか。				
伊丹市 そうです。ただ、料理にもよりますが、今日のようなハヤシライスは満杯に入れてし				
栄養教諭：まうとませにくくなるので、ここは全部で5,400食ぐらい作っていて8釜ありますが、大体今日だと6釜分を使って調理しています。				
器具の洗浄室も調理場内にあります。部屋が区切られているので、本来は調理中に洗浄作業というのはできませんが、作業を区切る部屋がありますので、食数が多いので洗わないと間に合わないの、きっちり部屋を区切って洗浄ができるようになってい				
事務局：スチームコンベクションオープンで調理された食材も（ベルトコンベア）で流れてい				
伊丹市 スチコンで調理された食材は流れないです。パススルーのようになってい				
栄養教諭：ここに1釜だけ見える釜が災害時用にも使える釜になっていて、下にローラーがついて外にも持ち運びできるようなものになっています。先ほど見ていただいた釜は蒸気釜ですが、これに関してはガスの釜になってい				
事務局：先ほど見ていただいた蒸気釜は二重になっていて、間に蒸気が入ることで釜の熱をとって、利点としては焦げにくいこと、温度がすぐに上がりやすいこと、ガスだと火が当たっているところだけが熱が強いが、蒸気釜は均一に熱が通るので大変便利で、調理もしやすいです。				
事務局：温度調整をしにくいのですか。				
伊丹市 温度調整も蒸気量で、こういったバルブがあり、バルブを引くと蒸気をたくさん入れ				
栄養教諭：て温度を上げることができます。				

事務局：小学校は自校方式ですか。
伊丹市 小学校もセンターです。
栄養教諭：
委員：可動式の釜はどこかで使われていたことはありますか。
伊丹市 去年の冬に実際に外に運んで調理をしたことがあります。ただ、ガスをつなぐ技術者
栄養教諭：が必要で、その免許を持った方でないとできないため、給食センターだけで屋外使用
できるということではありません。
事務局：容量はどれくらいですか。
伊丹市 今日入っている分は320リットルくらいです。1人分が240ccくらいです。
栄養教諭：
事務局：この施設で何人くらい働いているのですか。
伊丹市 50人くらい。ここは委託会社にお世話になっておりますが、50人のうち4人配送
栄養教諭：の方がいらっしゃるの、正規採用の人は15人くらいです。あとはパートさん30
人です。
委員：そのパートさんは別に調理師の免許を持っていなくても良いですよ。
伊丹市 そうですね。人数もですが、確認作業というのをしてもらっているの、受け取った
栄養教諭：ものの中に異物がないかというのも見てもらっています。
委員：例えば衛生上、異物が入ってしまう等の事態を防止するために何かされていますか。
伊丹市 下処理に入る前はエアシャワーでほこりを取ります。また、白衣を着た後にローラー
栄養教諭：を2人1組でかけてもらって、衣服についているほこりを除去してから入ってもらっ
ています。
委員：6釜で5,000食から6,000食とお伺いしましたが、8釜なら8,000までは対
応できますか。
伊丹市 メニューにもよります。今日のようなメニューだと5,000食で6釜使っているの
栄養教諭：で、1釜分を1,300と考えれば8,000程度の対応はできますが、そうすると調理
員の数などにも関わってきます。
委員：アレルギー対応は先ほどのように米粉で作ること以外にも、何か注意すべきことがあ
りますか。
伊丹市 本来ここは卵しかアレルギーの除去対応をしないということになっているので、今ま
栄養教諭：であった例だと、バターを使ったカレーのルーを出しても特に問題はありますが、
食べられる子が減ってしまうということで、同じように例えば石狩汁なども、本当なら
バターを入れますが、入れないで作れるものは献立を立てるときに除去しています。
委員：ちなみに学校で残ったものはどうしていますか。残飯はここに返ってきますか。
伊丹市 ここに返ってきます。残食も毎日かかっています。
栄養教諭：
委員：このメニューのときにはあまり食べていない、という場合はメニューを変えるなどし
ていますか。
伊丹市 そうですね。
栄養教諭：
委員：メニューはどちらが多いですか。
伊丹市 洋食です。
栄養教諭：
事務局：大体1食は800キロカロリーくらいですか。
伊丹市 そうですね。夏に衛生の基準が変わって830キロカロリーとなりましたが、月の平
栄養教諭：均で伊丹市では800キロカロリーを切らないように献立を立てて、日々の変動があ
るので、1日だと700は切らないように考えています。
事務局：残菜量は学校ごとに把握していますか。
伊丹市 学校ごとと、主菜、主食、副菜、汁物、食缶ごとに残食量は調査しています。
栄養教諭：
事務局：会計は学校ごとですか。

伊丹市 市で292円というのが1食で、それはみんな一律292円です。月5,200円徴収
栄養教諭：しています。この給食費は、どこもそうかなとは思いますが、食材費にのみ使用して
います。人件費であるとか、光熱費とかというのはここに含まれていません。

事務局：徴収については。
伊丹市 徴収は、公会計になっているので市が管理しています。

栄養教諭：
委員： 皆さん、忌憚のない意見をお願いできればと思います。では、考えていただいている
間に簡単な質問をします。先ほど、プロポーザルについて、選定された企業は業務委
託ですか。指定管理者という感じでしたでしょうか。

伊丹市 所長： 委託という形になります。中学校給食に係る調理委託等の業務ということで、プロポ
ーザル方式で3年間。

委員： 3年後に変わる可能性も出てくるということですね。

伊丹市 所長： 出てきます。一応、来年度で満了という形になりますので。

事務局： 配送の工夫や、トラックの状況、どういう形でルートを設定されているかなど、教え
ていただければと思うのですが。

伊丹市 所長： 一応、配送車のほうは、8校市内に中学校がございまして、2校ずつという形で配送
しております。2段階方式を伊丹市はとっており、まずは食器を先に配送します。そ
して、2時間喫食の関係がございまして、でき立ての食材をできるだけ温かく安全
にということで、第2便で食缶が出ます。また、交通事情の加減もございまして、
4便が一斉に出るのではなしに、遠い学校から順次出ていくという形になります。今
皆さんが行っていただきました北中学校は最終の便、第4便です。実際その4便の間
で10分も20分も変わることはなく、5分間隔程度で出ていきます。

伊丹市 栄養教諭： その日によって献立は違いますので、最初にできたものから順次配送しますが、出来
上がる間隔が10分空いてしまうこともあります。それと、ここでは45分対応をし
ていますので、早目に持ってきてほしいという連絡があれば、配送順は変えて、例
えば北中学校は45分に欲しいと言われた場合は配送順を変えて対応することもあり
ます。

事務局： こちらは朝何時から動いていますか。

伊丹市 所長： 私達の勤務時間は8時から16時45分までですが、委託会社のほうは早い方でした
ら7時ぐらいに来られます。委託会社の方は大体16時半から17時の間には上がり
ます。パートさんは8時半からになります。

事務局： 中学校への食育指導というのは、このセンターのから直接何か動きをされていますか。

伊丹市 栄養教諭： 食育指導というところまではまだできていなくて、とりあえず給食を時間内に出すと
いうところが一番なので、なかなか学校へ行って、例えば1時間授業をもらってとい
うのは今のところできていませんが、できていない分毎日一言メモを手書きで書いて
出したり、行事食のときに画用紙で掲示物を作ったりということはしています。

伊丹市 所長： 栄養教諭の配置と申しますのが文部科学省の基準で食数によって決まっています。う
ちが5,000食台になっているので、その場合は国からの配置が2名という形にな
り、まずこちらの給食を出さなければいけないということで、なかなか回れていない
のが現状ですが、保健衛生委員会とか、各学校で行事があるときについては栄養教諭
が講師として各学校に行って、そこで食育指導、先ほどスライドでご説明したように、
その時々オリジナルのものをつくって各学校で特別に講演という形では行っていま
す。

委員： センターの建設の費用については。

伊丹市 所長： センター竣工の総工費は大体18億4,700万円ぐらいかかっております。

委員： 例えば設備が10年ぐらいするともう一回更新しないといけない。

伊丹市 所長： 大体、業者から言われているのは12、3年が耐用年数ということですよ。今、小学校
が次々に変えています、大体ほとんどの市町村で業者が言う12、3年で変えると
ころはまずないと思います。大体15、6年たって不具合が出てきたものに対して順
次変えていく。

事務局： 18億の中には土地の代金は。

伊丹市 所長： 入っていないです。建設費だけです。

事務局： 25年の準備の時にセンター方式を答申するのに決め手となったのはどのあたりか、

教えていただききたいです。

伊丹市 所長：まず、学校で自校方式というような検討はされておりました。ただ、自校方式になりますと8校とも学校の運動場を潰さなければいけなくなり、そうすると学校のほうがまわらないということで、学校から反対を受けたことと、実際、委員さんにも各学校を視察していただきまして、ここでは無理だろうとなりました。大体値段的にはランニングコストも建設コストもそんなに多くは変わらなかったのですが、学校を運営する中でやはり設備が狭くなるというのは非常に困るということでセンター方式に最終的には決まりました。

委 員：近隣だし、住宅とかが結構あるのですが、匂いとか、騒音であるとかいろんな問題はありませんでしたか。

伊丹市 所長：今はありませんが、工事のときは粉じんが飛んできたこと、それは事務方、私を含めて、当時、私と係長が2人で毎日挨拶に行ってお理解をいただいて、最終的には承諾いただいたというのが、毎日ありました。

委 員：中学校給食が始まるに当たって、学校側とセンター側の話のすり合わせというか、給食時間を決めたときなども、8校どのように進めていかれたのか。

伊丹市 所長：まず一番大きいのは校長会のほうに何度も会を開いていただき、保健体育課、学校指導課、小学校の給食センターと協力してモデルケースなどをつくりました。それで、校長会のほうにお話しさせていただいて、なかなか8校共通というのは難しかったのですが、ほぼ同じ形で共通事項をつくっていただきました。もともと中学校では部活もあり、進学指導をしなければいけない、学力指導もしなければいけない中で給食指導も...となると先生の休み時間はなくなる。アレルギー対応もしなければいけない。働き方改革がうたわれている中でますます帰る時間が遅くなり、これ以上どうするかと、アンケートをとれば約5割強の先生方から反対がありました。それを払拭するために職員一同、皆で各学校を回って説明をさせていただいた結果、若い先生方であっても、私たち給食センターの職員にも声をかけていただけのような、非常にいい関係が保てているというのは本当にありがたいなと思っております。

委 員：調理のことで衛生管理を徹底されていると思いますが、これは市の中で衛生管理のマニュアルか何かをつくられているのか、委託会社のほうが衛生管理のこともやっておられるのか、こういった基準ですか。

伊丹市 委託会社の方に独自の衛生管理のマニュアルがあり、もちろんそれにのっとってやっ
栄 養 教 諭：てもらっていますが、私たちも研修に出たりして得てくる情報や、衛生もだんだんと変わっていきますので、そういう情報は会社の統括さんとのミーティングの際に伝えたり、工程表や作業動線の書き方はこちらから指導するようになっています。会社独自では衛生管理の講習等もしてもらっていますし、直接私たちがパートさんや調理の方に指導するということはできないのですが、上の方を通して衛生指導は行っています。

以上